

平成24年度一般会計当初予算 総額106億7,500万円

～選挙後の補正を前提とした骨格予算～

平成24年度当初予算は、町長選挙が5月に執行されることから、経常的経費や継続事業を中心とした「骨格予算」として編成しております。

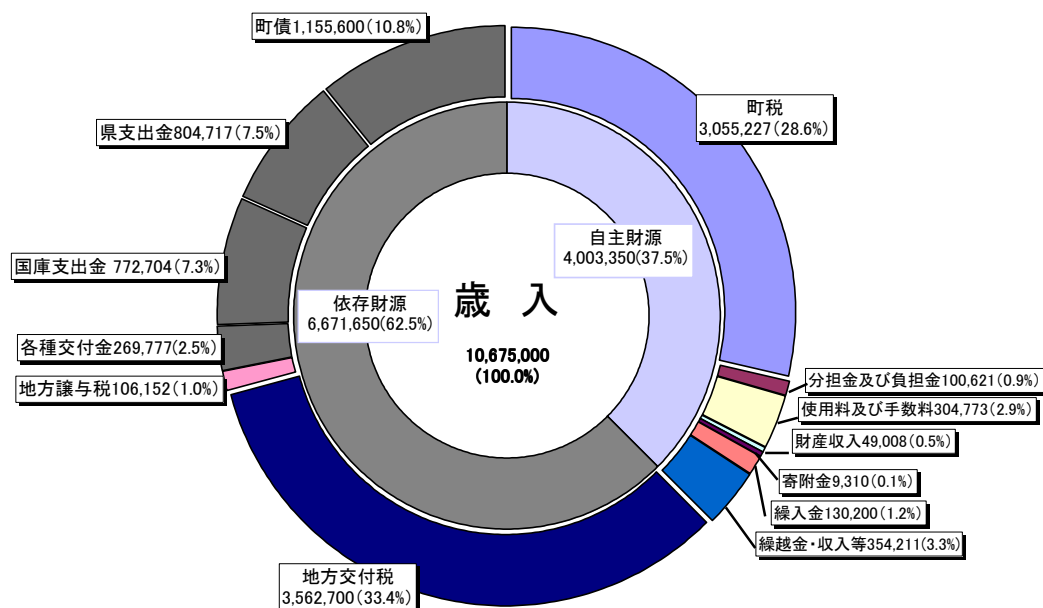
政策的経費や投資的経費を盛り込んだいわゆる「肉付予算」は、新しい町長の方針に基づいて、今後、補正予算として計上することになります。

このため、平成24年度一般会計当初予算は106億7,500万円で、前年度に比べて2億1,800万円、率にして2.0%の減少となっています。

〔歳入〕

歳入予算 構成比グラフ

(単位：千円)



用語解説

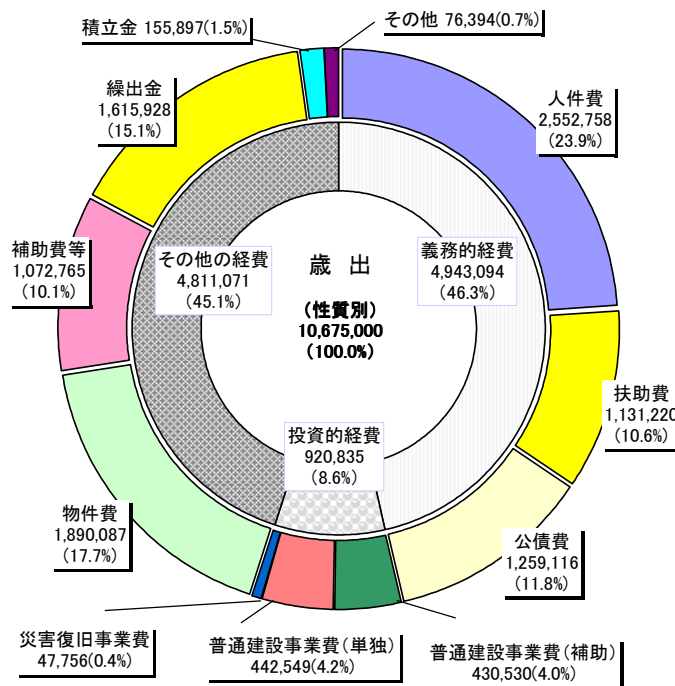
〔歳入〕

- ◆自主財源 町が自主的に収入することができる財源
- ◆依存財源 国・県から交付される財源
 - ・町税 住民税や固定資産税など
 - ・使用料及び手数料等 体育館施設使用料や公営住宅使用料、保育料など
 - ・繰入金・諸収入等 特定の目的のために積み立てている基金の取り崩しや、ほかの収入科目に含まれない諸収入など
 - ・地方交付税 国が徴収した税金の中から、町の財政状況に応じて国から交付されるお金
 - ・国庫支出金/県支出金 特定の目的の財源として国・県から交付される補助金など
 - ・町債 建設事業など大きな事業の費用にあてる借入金
 - ・各種交付金/地方譲与税 国税などが法により交付または配分されるもの

〔歳出〕

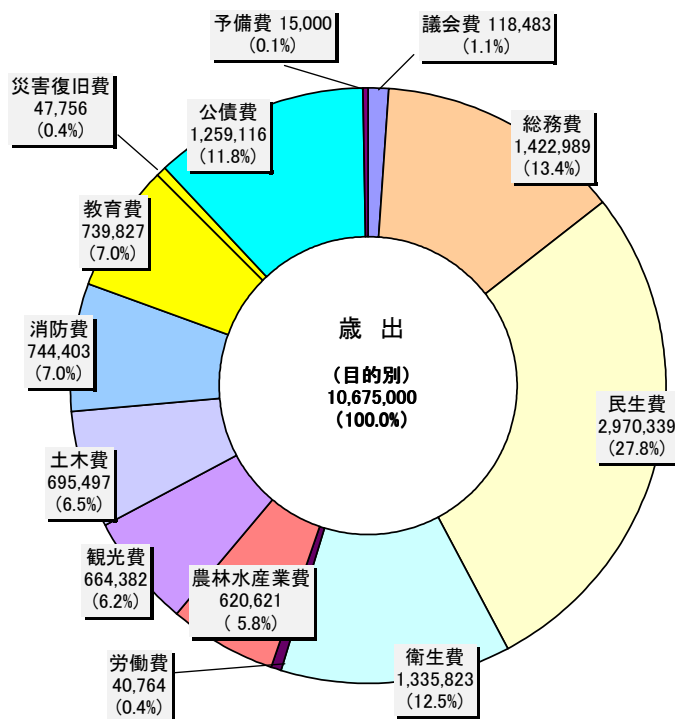
歳出予算（性質別）構成比グラフ

（単位：千円）



歳出予算（目的別）構成比グラフ

（単位：千円）



用語解説

〔歳出〕

- ◆義務的経費 歳出のうち、その支出が義務付けられ任意に削減できない経費
- ◆投資的経費 その支出の効果が資本の形成のためのもので、将来に残る施設等を整備するための経費
 - ・人件費 町職員の給与や、町議会議員、各委員会委員などの報酬
 - ・扶助費 児童手当、障害者福祉、医療費助成など
 - ・公債費 国などから借り入れたお金の返済金
 - ・普通建設事業費 建物や道路、公園など公共施設の建設や整備に使われる経費
 - ・物件費 消耗品や備品などの購入費、公共施設の光熱費など
 - ・補助費等 各種団体への補助金や負担金など
 - ・繰出金 一般会計から国民健康保険や介護保険などの特別会計への繰出金
 - ・積立金 各種基金への積立金
 - ・その他 公共施設の維持補修費、貸付金、予備費

◆ 特別会計総額 86億376万円 (対前年度比 1.0%減)

町が特定の事業を行う場合に設けられた予算で、経理を一般会計と区分するため設置しています。

会計名		予算額	対前年度 比較
国民健康保険	(事業勘定)	33億100万円	1.7%
事業特別会計	(施設勘定)	4,690万円	20.3%
後期高齢者医療特別会計		5億3,580万円	5.4%
介護保険特別会計		25億4,700万円	0.2%
住宅資金貸付事業特別会計		754万円	△24.1%
土地取得特別会計		3,000万円	0.0%
健康交流拠点施設事業特別会計		1億4,500万円	6.1%
簡易水道事業特別会計		3,850万円	△15.4%
農業集落排水事業特別会計		1,210万円	△8.3%
下水道事業特別会計		7億7,900万円	△1.0%
水道事業特別会計		11億6,092万円	△12.9%

※捨五入により、計が一致しない場合や構成比の計が100にならない場合があります。